要素の一つは担い手となる人材です。一昨年度策定した三条市経済ビジョンで掲げた「よくつくる、よくいきる」のテーマが表すとおり、人材への投資により重きを置き、一人一人が生き生きと働くことができる労働環境を整えることで付加価値が創出され、企業価値向上につながる、そのような好循環を実現する企業が増えるよう、一層の産業支援を行ってまいります。

また、私たち三条市は、地域産業に資する最新技術と知識を学べる環境を備えた三条市立大学を有しております。三条市立大学の学びの環境の更なる充実を図り、地域経済の発展に寄与する人材育成につなげるとともに、同大学と企業との連携により、地域産業が抱える課題の解決に導いてまいります。

私たち三条市は、工業分野における優れたものづくりの技術や製品だけではなく、恵まれた自然環境や土壌に育まれた風味豊かな農産物を生産する地でもあります。品質の高い農産物の生産の維持、拡大に向けた取組を進めながら、それぞれのおいしさや特長を多くの方々に知っていただくために、米や野菜、果物をトップセールスで発信してまいります。そして、三条産農産物を多くの方々から味わっていただき、新たなファンを創出することで更なる需要の喚起を図ってまいります。

令和4年度に50億円を超える過去最高の納税額を記録したふるさと納税は、「ものづくりのまち三条」ならではの工業製品や農産物を始め多様な返礼品が魅力となり、多くの方々から支持をいただいています。これからも事業者の御協力をいただきながら更に返礼品を充実させ、私たち三条市のシティセールスにつなげるとともに、更なる財源の確保に積極的に努めてまいります。

②教育・子育て環境の充実
～「ひとづくりのまち」三条へ～

子どもは、私たち三条市、ひいては我が国の将来を担っていく大切な宝です。私たち大人には子どもたちの健やかな成長を支え、輝かしい未来に導いて行く責務があります。私たち三条市の出生数は、10年前の平成26年には720人、5年前の令和元年には593人、令和5年には425人と急激に落ち込んでいます。この現実から目を背けることなく、子どもに関わる様々な環境について、その在り方を考え、判断しなければいけない時機が到来しております。とりわけ、子どもたちの学び、成長の重要な基盤である学校の在り方は、時機を逸することなく方向性を見いださなければなりません。このまちの将来を担っていく子どもたちが学び、育っていくためには学校がどうあるべきか、今年度設置した未来の学校検討委員会において議論を行ってまいります。

また、義務教育のみならず、新潟県が検討を進めている県立高等学校の在り方についても、市内に4校が立地する自治体として、私たち三条市が当該県立高等学校に期待する役割を新潟県に伝えてまいります。

将来ばかりに目を向けるのではなく、目下にある課題についても着実に取り組み、未来につないでいかなければなりません。

全国的に課題となっている教員の多忙化は、将来的に教員が児童・生徒と向き合う時間的余裕がなくなり、児童・生徒の学力や人間力、変化する時代の中で生き抜く力を育んでいくことに深刻な影響を与えることが懸念されます。ＩＣＴの活用などにより、これまで以上に教員が児童・生徒一人一人と十分に向き合い、学習指導や生徒指導に注力できる時間を確保するための環境整備を推進してまいります。

学校教育に限らず、子育てについては、多くの方々が精神面や環境面、経済面などに関して多様な不安や悩みを抱えています。子育て世帯の皆様から少しでもそういった不安や悩みが払拭され、誰もが安心して子育てに集中して取り組めるよう、様々な場面に応じた支援を行ってまいります。

くわえて、近年、子どもたちを取り巻く環境が多様化、複雑化する中、子どもたちが抱える問題も複雑多岐にわたっており、必要な支援も同様に、より重層的かつきめ細かな対応が求められております。様々な困難を抱える子どもたちが取り残されることなく、それぞれの個性、特性に合わせた成長を遂げられるよう、個に応じた切れ目のない支援体制の構築に一層注力してまいります。

③医療・福祉の充実
～安心して住み続けられる三条へ～

誰しもが将来にわたってはつらつと元気よく充実した日々を送りたいと願うものです。しかし、その思いとは別に、心身の不調に陥ることも起こり得ます。そのようなとき、身近な所で安心して必要な治療を受けるためには、生命と健康を守る医療の受け皿が地域で整っていなければなりません。

今年の3月、救急医療・専門医療・災害医療を担う済生会新潟県央基幹病院が開院し、県央地域における医療提供体制の充実が図られました。

しかし、超高齢化の進行や慢性疾患の増加による医療需要の増加を見据えると、医療人材確保はもとより、地域の医療資源の効率的な活用などにより安定した医療提供体制を維持していくことが必要です。そのため、済生会新潟県央基幹病院を中心に他病院、診療所等の医療機関が連携し県央地域が一つの病院として機能するよう、三条市医師会を始めとする関係機関と共に持続可能な仕組みづくりを行うとともに、引き続き医師・看護師の確保に取り組んでまいります。

また、年齢を重ねても可能な限